


## ITパスポート・IT人材育成講座

訓練期間	令和6年5月7日～令和6年9月14日（35回） 毎週火 土 19:00～21:00（8/13・17・31は休講日）	訓練時間	70時間
対象となる方	宇治市・城陽市・久御山町で就業中の方又は就職しようとしている方 自宅又は作業環境においてインターネット通信環境を用意できる方、キーボード操作やファイル操作ができる方		
訓練目標	・ITパスポートの取得は、社会人として必要な情報技術に関する基礎知識が習得済みであることを国から証明されたことを意味し、IT業界だけでなくビジネス社会全般に必須の基礎知識である。 ・本講座では、業種業態問わず、全職種の社会人が業務を行う上で必要なITの知識と基礎的な経営全般の知識を習得する。		
訓練概要	・ITやネットワーク技術の基礎知識からITを活用した経営戦略、プロジェクトマネジメント手法まで幅広く学習する。加えて、Accessを活用したデータ活用方法を学び、業務改善や業務効率化のためのノウハウやマネジメント感覚を有するIT人材としてのスキルやセンスを習得する。 ・データを貯める、取り出す、変更する、削除する等の学習を体感し、様々なデジタルサービスを選択することで業務改善や業務効率化を図り、マネジメント感覚を有するIT人材を育成する。		
訓練修了後取得可能な資格	ITスキル標準（ITSS）レベル1以上		
受講料	34,000円（別途テキスト代が必要です）		

募集期間	令和6年3月28日～令和6年4月30日		
申込先	〒611-0043 宇治市伊勢田新中ノ荒21-8 ☎0774-46-0688 info@jyonan.ac.jp 担当者：高橋		
注意事項	応募者多数の場合、選考させていただくことがあります。 応募者が募集定員の半数に満たない場合は訓練を中止することがあります。		

訓練実施機関	城南地域職業訓練センター	〒611-0043 宇治市伊勢田新中ノ荒21-8 ☎0774-46-0688 info@jyonan.ac.jp	
駐車（駐輪）場	あり（約50台）	<アクセス> 近鉄伊勢田駅から西へ徒歩13分 近鉄大久保駅から京阪宇治交通バス「緑ヶ原」バス停下車徒歩3分	

城南地域職業訓練センターは、京都府・宇治市・城陽市・久御山町ほか宇治・城陽の各商工会議所と久御山町商工会が協働で設置運営する公的な職業訓練機関です。城南地域の求職者・在職者のスキルアップとステップアップのための職業訓練講座を運営しています。

訓練修了後、求職者の方へは城南地域の魅力ある事業所への就職支援を、在職者の方へは、訓練で得られたスキルを活用したキャリアアップ支援を、それぞれ国・府や市町の関係機関と連携しながらお手伝いさせていただきます。

キャリアアップに◎！

未経験者OK！

・FP2級資格を保有し、証券外務員として勤務していますが、昇任昇格に当たりITパスポートが必要のため受講しました。受講して良かったです。（40代男性）

・なぜこのIT技術が使われるのか、ITのトレンド変遷等、ITに関する全体像が学べました。（30代女性）

求職者、在職者とも受講OK！

他業種からの転職もOK！

●カリキュラム日程 毎週2日（火・土）2時間×35回（全70時間）コース

月/日	曜	訓練内容	時間数
5/7	火	入校式・自己紹介・ITパスポート試験について・ストラテジ系・企業活動	2
5/11	土	ストラテジ系・企業活動	4
5/14	火		
5/18	土	ストラテジ系・企業と法務(グループワーク)	4
5/21	火		
5/25	土	ストラテジ系・企業と経営戦略	4
5/28	火		
6/1	土	ストラテジ系・企業とシステム戦略	4
6/4	火		
6/8	土	マネジメント系・技術開発	4
6/11	火		
6/15	土	マネジメント系・プロジェクトマネジメント	4
6/18	火		
6/22	土	マネジメント系・サービスマネジメント	6
6/25	火		
6/29	土		
7/2	火	テクノロジー系・基礎理論	6
7/6	土		
7/9	火		
7/13	土	テクノロジー系・コンピュータシステム	6
7/16	火		
7/20	土		
7/23	火	テクノロジー系・技術要素	8
7/27	土		
7/30	火		
8/3	土		
8/6	火	Accessを使ってデータベース作成体験	14
8/10	土		
8/20	火		
8/24	土		
8/27	火		
9/3	火		
9/7	土		
9/10	火	リモートツールの使い方・体験	2
9/14	土	リモートツールの使い方・体験 修了式	2

<本講座の特徴>

- ・受講者の了解の下、自由参加のLineグループ「城南地域職業訓練センターITパスポート広場（仮称）」を作成し、同じ試験の合格を目指す受講者間で交流し、質疑応答できる環境を設ける。
- ・10日に1度は講座内でグループワークを組み、リアルな強みを活用する。



(休講日：8/13,17,31)  
 <使用予定テキスト、参考図書は調整中>  
 IT化で情報を使った技術を活用し、新たな価値を生み出そう。